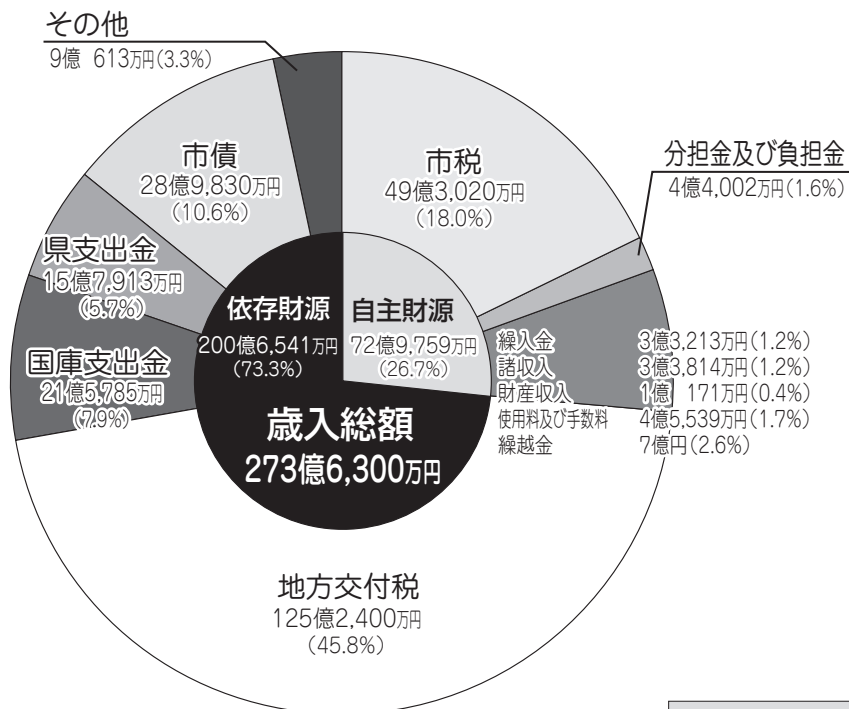


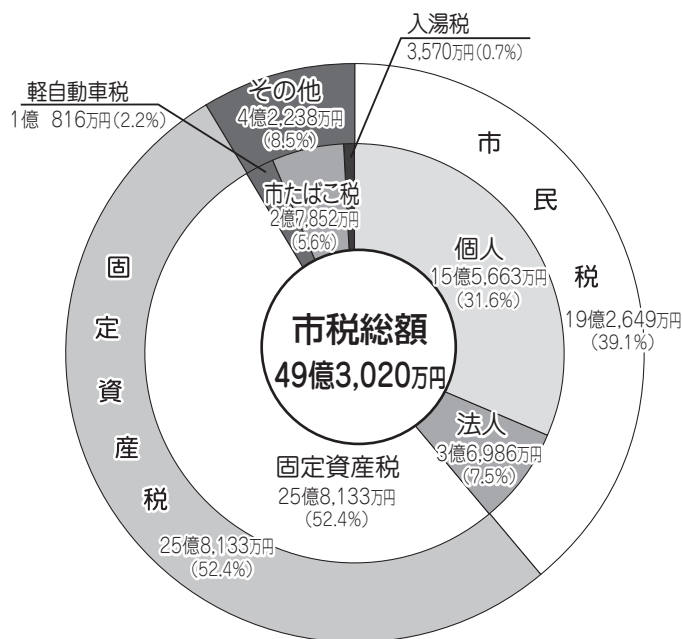
歳入の内訳



特集

平成26年度 当初予算

市税の内訳



総 額…………… 482億7,439万円
 一般会計…………… 273億6,300万円
 特別会計…………… 153億 733万円
 企業会計…………… 56億 406万円

次の七つを柱とした予算編成

- 産業・雇用（地域資源や高速交通網の優位性を活かして産業を育てるまち）
- 環境・防災・社会基盤（美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち）
- 健康・福祉（支えあい助け合う安心のまち）
- 教育・文化・人づくり（香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち）
- 自治・まちづくり（市民と行政の協働により自律するまち）
- 地域振興（個性あふれる地域づくりを推進するまち）
- 行財政改革（身の丈に合った行財政体制の確立）

郡上市の平成26年度予算の総額は、約483億円。そのうち福祉、医療、教育や道路整備など、みなさんにとって基礎的な行政サービスを行う一般会計が約274億円となっています。平成25年度の当初予算に比べて、一般会計で1.6%の減となっています。

一般会計の歳入のうち、市税は49億3,020万円（前年度比0.1%減）、国庫支出金は、地域経済活性化・雇用創出臨時交付金の減などにより21億5,785万円（同6.2%減）、地方交付税は基準財政収入額の減などにより125億2,400万円（同0.2%増）を見込んでいます。市債は、中学校の校舎等整備事業をはじめとした投資的事業の減により、28億9,830万円（同18.6%減）となっています。

また、今年度は財源不足を補うための財政調整基金からの繰り入れは計上していませんが、将来への公債負担軽減のための市債繰上償還の財源とするため、減債基金から3億3,660万円を繰り入れることとしています。市税収入などの自主財源は、72億9,759万円で全体の26.7%しかなく、地方交付税や国庫支出金などの依存財源の占め

～用語解説～

■**市税**…市民のみなさんから納めていただく市民税や固定資産税など

■**繰越金**…前年度から繰り越されたお金

■**繰入金**…基金（特定の目的のために積み立てられる資金または財産）などから取り崩して、一般会計へ繰り入れるお金

■**分担金および負担金**…福祉事業や土木事業などに対する負担金

■**使用料及び手数料**…住民票などの発行手数料や市営住宅などの使用料など

■**市債**…道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（借入金）

■**地方交付税**…国税の定率分を、市の財政状況に応じた一定の基準により、国が交付するお金

■**国、県支出金**…国、県の施策に沿った特定の事業を行う場合などの財源として交付されるお金

■**人件費**…職員、議員などに支払われる給与や報酬など

■**公債費**…主に事業を行うために借り入れたお金（市債）の元利償還金

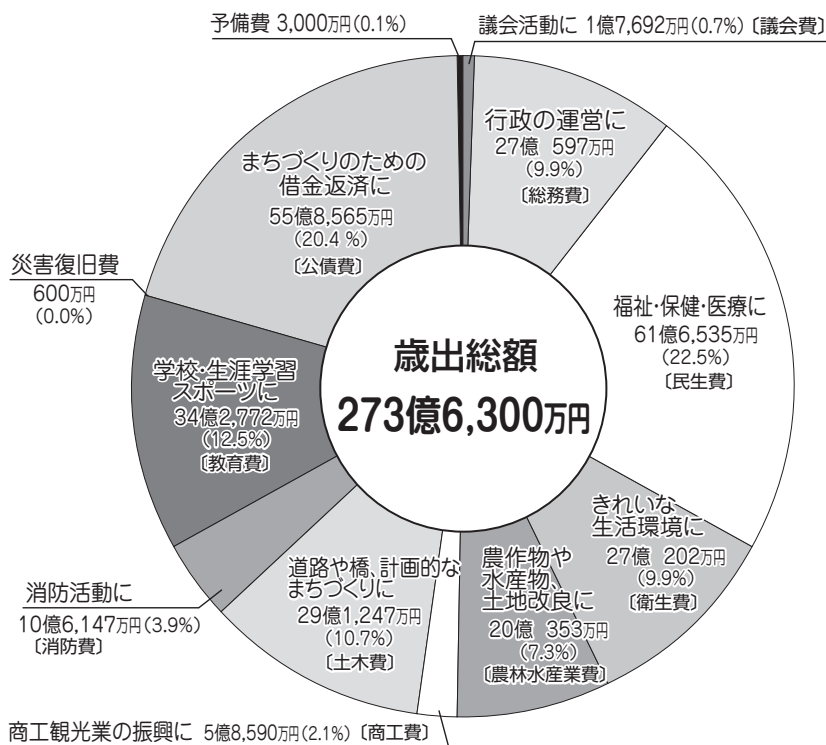
■**扶助費**…児童や老人などの生活支援、生活保護などに使われる費用

■**普通建設事業費**…道路や学校など、公共、公用施設の建設や整備にかかる費用

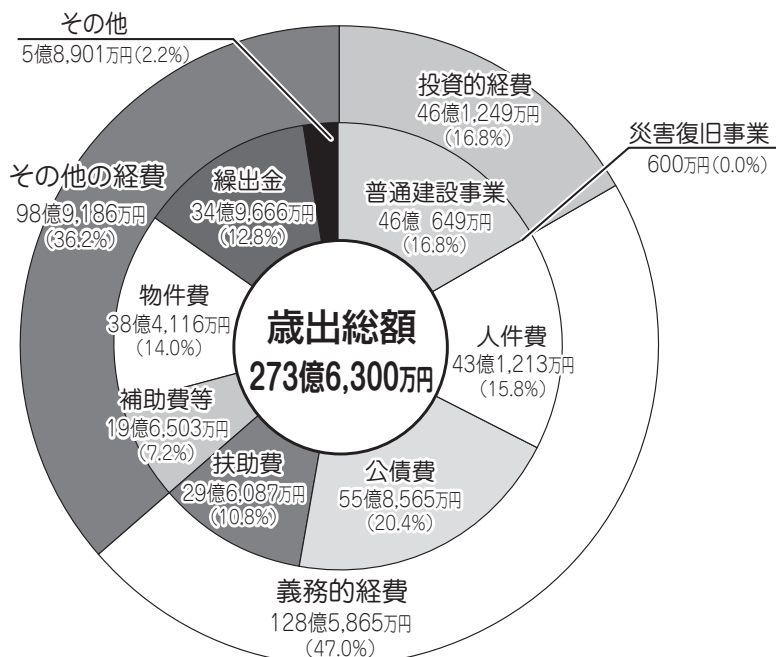
■**物件費**…公共、公用施設の維持管理や旅費、交際費、需要費、備品の購入に充てられる費用

■**繰出金**…一般会計から特別会計へ支出される経費

一般会計の主な使いみち



性質別の使いみち



る割合が大きなものとなっています。歳出については、少子化対策や高齢者などに対する福祉医療や保健に使われる民生費が61億6,535万円（同3.3%増）、道路整備など市民生活に密接する土木費が29億1,247万円（同11.8%減）、学校建設や学校教育、社会教育に使われる教育費が34億2,772万円（同3.9%減）であり、大きな割合を占めています。また、まちづくりの借金返済にあたる公債費は繰上償還3億360万円を含めて55億8,565万円（同1.4%増）となり、歳出全体の20.4%となっています。性質別では、人件費と公債費、扶助費を合わせた義務的経費（同0.2%減）は47.0%と大きな割合を占め、普通建設事業などの投資的経費（同7.9%減）は16.8%となっています。また、一般会計から特別会計へ支出される繰出金（同5.4%減）の割合も12.8%と大きくなっています。今後大変厳しい状況が続くと思われ、引き続き職員定数の適正化と公共施設の見直しなどを進め、財政の健全化を最重要課題として、行政改革に取り組んで行く必要があります。

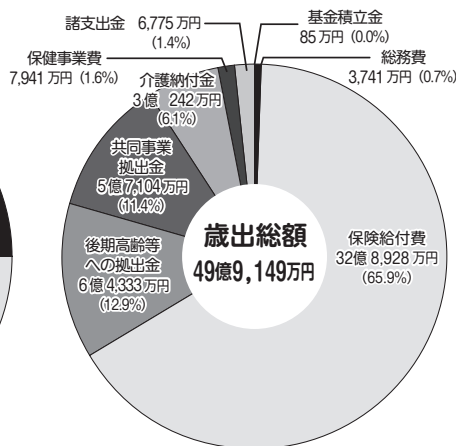
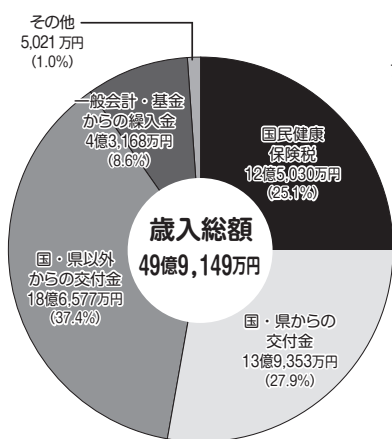
平成
26年度

特別会計

主な事業の予算

国民健康保険事業

国民健康保険に加入している人が、病気やけがで診療を受けたとき、その医療費（本人負担分を除いた費用＝保険給付費）を負担しています。



被保険者一人当たりには換算すると、歳入の国民健康保険税は100,345円になります。また、保険税の負担軽減を図るための繰入金は、一般会計・基金からそれぞれ6,019円（総額各7,500万円）、低所得世帯等の保険税軽減分は11,236円（総額1億4,000万円）になります。

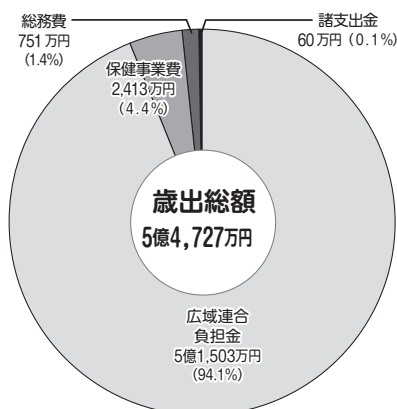
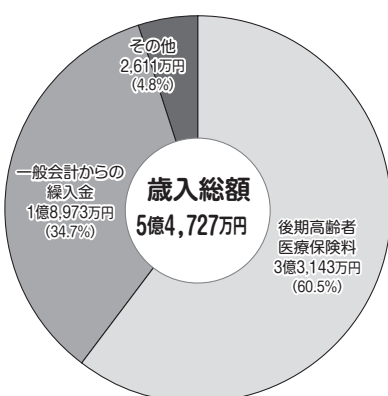
歳出の保険給付費は263,987円、後期高齢者医療制度等への拠出金は51,632円、介護保険への納付金は24,271円になります。

生活習慣病を予防し、重症化を防いで健康的な生活をしていただくため、40歳以上の人を対象に特定健康診査を実施しています。

年1回は健診を受けましょう。

後期高齢者医療事業

75歳以上の人（一定の障がいがある人は65歳以上）は、後期高齢者医療制度に加入します。運営は岐阜県後期高齢者医療広域連合が行い、市は保険料の徴収、各種申請などの業務を行っています。



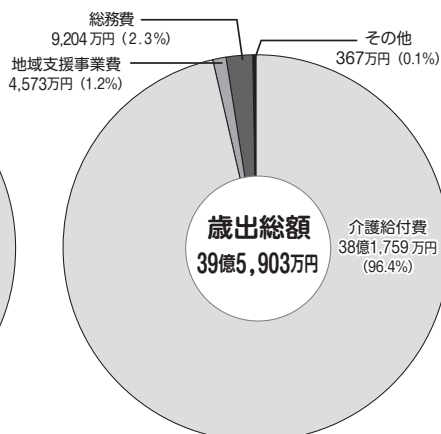
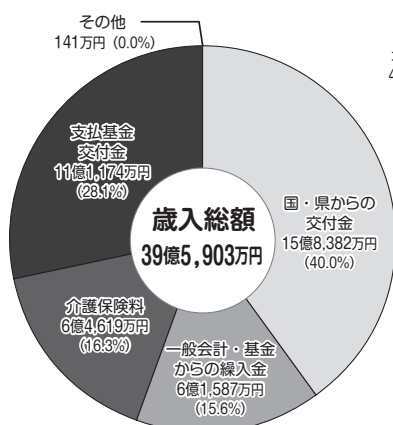
被保険者一人当たりには換算すると、歳入の後期高齢者医療保険料は37,633円になります。また一般会計からの繰入金のうち低所得世帯等の保険料軽減分は17,980円（総額1億5,835万円）になります。

保険料は、「均等割額」と被保険者の所得に応じて負担する「所得割額」の合計で、個人単位で計算されます。均等割額と所得割率は広域連合で2年ごとに見直されます。

平成26・27年度 均等割額41,840円、所得割額 所得×7.99%

介護保険事業

介護や支援が必要になったときに介護サービスや介護予防サービスを提供し、保険加入者とその家族を支援します。サービス費用のうち、本人負担を除いた費用（保険給付費）は国保連合会を通じて事業者へ支払われています。



被保険者一人当たりには換算すると、歳入の介護保険料は45,143円になります。

歳出の96%を占める介護給付費の主な使い道として、訪問介護や通所介護等在宅でのサービス利用は15億9,129万円、地域密着型施設での介護サービス3億939万円、特別養護老人ホーム等の利用14億5,170万円、低所得者の介護サービス費の負担軽減1億6,469万円となります。

このほか、住宅改修費の補助1,724万円、福祉用具購入費の補助534万円、高額となった介護サービス費を戻す費用は5,554万円となります。

全会計一覽

会 計		平成26年度予算額	平成25年度予算額	増減率 (%)	予算の内容
一 般 会 計		273億6,300万円	278億1,300万円	▲1.6	基礎的な行政サービスに
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	49億9,149万円	50億6,863万円	▲1.5	国民健康保険の運営に
	国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	4 億7,374万円	4 億9,691万円	▲4.7	高鷲・和良歯科・和良診療所の 運営に
	簡易水道事業特別会計	20億2,801万円	14億8,915万円	36.2	簡易水道の供給や工事に
	下水道事業特別会計	22億5,206万円	24億1,263万円	▲6.7	下水処理や下水道工事に
	介護保険特別会計	39億5,903万円	38億2,536万円	3.5	介護保険の運営に
	介護サービス事業特別会計	7 億 546万円	7 億2,259万円	▲2.4	郡上偕楽園特別養護施設の運 営と白鳥病院などで行う介護 サービスの運営に
	ケーブルテレビ事業 特別会計	1 億2,970万円	2 億5,055万円	▲48.2	郡上ケーブルテレビの施設整 備に(公債費元利償還金の減)
	駐車場事業特別会計	404万円	387万円	4.4	市営駐車場の管理運営に
	宅地開発特別会計	551万円	1,802万円	▲69.4	分譲地の販売及び経費に
	青少年育英奨学資金貸付 特別会計	2,316万円	5,136万円	▲54.9	就学の支援に
	鉄道経営対策事業基金 特別会計	1,192万円	1,192万円	0.0	長良川鉄道の基金利息
	後期高齢者医療特別会計	5 億4,727万円	5 億4,467万円	0.5	高齢者の医療のために
	大和財産区特別会計	1,327万円	1,615万円	▲17.8	財産区有林の育成に
	白鳥財産区特別会計	1,520万円	444万円	242.3	財産区有林の育成に
	牛道財産区特別会計	1,311万円	1,425万円	▲8.0	財産区有林の育成に
	北濃財産区特別会計	0万円	668万円	皆減	財産区有林の育成に
	石徹白財産区特別会計	4,073万円	3,281万円	24.1	財産区有林の育成に
	高鷲財産区特別会計	2,759万円	2,711万円	1.8	財産区有林の育成に
	下川財産区特別会計	390万円	666万円	▲41.4	財産区有林の育成に
	明宝財産区特別会計	3,822万円	2,284万円	67.3	財産区有林の育成に
和良財産区特別会計	2,392万円	2,538万円	▲5.8	財産区有林の育成に	
特別会計 計		153億 733万円	150億5,198万円	1.7	
企 業 会 計	水道事業会計 (収益)	3 億3,076万円	2 億5,380万円	30.3	上水道の供給や上水道工事に
		(資本)	1 億3,692万円	1 億1,822万円	
	病院事業等会計 (収益)	44億8,760万円	40億8,729万円	9.8	市民病院、白鳥病院の運営に
		(資本)	6 億4,878万円	7 億3,115万円	
企業会計 計		56億 406万円	51億9,046万円	8.0	
総 額		482億7,439万円	480億5,544万円	0.5	